

表紙の写真

ヒメハギ科のイトヒメハギ *Polygala tenuifolia* Willdenow, 遠志, tenuifolin

(モンゴル国ヘンティ県にて, 2015年7月22日, 小松かつ子撮影)

遠志は *Polygala tenuifolia* の根または根皮に由来し、去痰、鎮静、強壮薬として、喀痰・咳嗽、驚きやすく動悸するもの、健忘症、不眠、できものなどに応用される。本品が配合される漢方処方には、帰脾湯、加味帰脾湯、加味温胆湯、人参養栄湯などがある。2015年12月に「単味生薬のエキス製剤の開発に関するガイドライン」が策定されたことにより、2017年4月以降、この規格を満足する一般用医薬品のオンジエキス製剤が「中年期以降の物忘れを改善する」という効能効果を表示して、数社から上市された。オンジエキスにアセチルコリン合成酵素(ChAT)活性上昇作用など、含有成分の tenuifolin に神経保護作用、3, 6'-disinapoyl sucrose に抗うつ作用などが *in vitro*、*in vivo* レベルで報告されているが、抗認知症や抗うつ病に至るまでの作用機序の解明や臨床研究は不十分であり、エビデンスの構築が望まれている。